

平成 27 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

NPO法人ちば子ども学研究会

1 事業の成果

平成 27 年度は、平成 18 年度から協力している千葉大学教育学部生涯教育課程「地域子育て支援実習」を受講する学生が、前期 34 人、後期 22 人とかつてないほど多く、この授業への取り組みが活動の中心となった。学生を体験隊班、レシピブック班、運営/イベント班、絵本講座班に分けて活動したので、実際に子どもや未就園児親子とイベントに関わりを持てた学生にとっては、他の授業では体験できない場となったことが好評だったが、実践の場がなかった学生たちは物足りなさを感じたようである。一方、授業の中で紹介したゆるプロの他団体の活動に個人的に参加した学生が数人おり、それぞれ有意義な体験ができたようである。

10 年目を迎えた轟公民館の「子どもなんでも体験隊」は、親子で参加してもらった新しい形で行い、今までとは違う雰囲気となったが、スタッフ曰く“神”回というべき活動を行うことができた。しかしながら、10 年目を区切りとし、轟公民館での子どもなんでも体験隊は終了し、長年使わせていただいていた轟公民館の奈落の荷物をすべて引き上げることを決断した。

NPO 法人設立 5 年目だったが、特に大きな事業を行うことはなく、会員の特典を打ち出すことができず、会員増は達成できなかったが、外部とのつながりは増えてきた。今後はその人たちとどう関わって事業に結び付けていくかが課題である。

【子育てに関する研修、学習の場を提供する事業】

①千葉大学教育学部生涯教育課程「地域子育て支援活動実習Ⅰ、Ⅱ」の開催協力

千葉大学教育学部生涯教育課程の「地域子育て支援活動実習Ⅰ、Ⅱ」への協力を引き続き行った。

参加学生が多く、グループに分かれて活動することになり、スタッフ間の話し合いの場が減ったうえに、常に学生に対してどうするかが課題となり、活動の方向性に悩んだ。しかし、「学生は近い将来、親や先生となる存在である」という視点を持つことで、「学生にお手伝いを頼む」ではなく、「学生に体験の場を提供する事業」と位置付け、今後の活動につなげていきたい。

②千葉市生涯学習センターの「放課後子ども教室コーディネーター等研修会」に講師として参加（9/29、10/13）

昨年度に引き続き、千葉市生涯学習センター主催の「放課後子ども教室コーディネーター等研修会」の講師として依頼を受け「がんばり過ぎない放課後子ども教室『お手軽お気楽プログラムで』』というタイトルで講義と実技を行った。前半は、プログラムの紹介を行い、後半はグループごとに意見交換の時間とした。研修会の前に教育委員会の放課後子ども教室の担当の方とお話しする機会があったので、研修会への参加をお願いし、現場で活動を担っている方と直接お話ししていただくことができた。

③ちば地域コンソーシアムに参加

青少年が携帯電話やインターネットを安心して安全に利用できる環境を作ることを目的とした「千葉県青少年を取り巻く有害環境対策推進協議会(ちば地域コンソーシアム)」に参加した。

ちば地域コンソーシアム実行委員会(2回)参加 6/30、3/7

ケータイ・インターネット安全教室 フォーラムに参加 2/27

【子ども向けイベント事業】

①とどろきこどもなんでも体験隊

子どもと楽しむことのできる大人を増やす事業として、轟公民館の「なんでも体験隊」を親子で参加する「親子体験隊」として保護者も巻き込み、大学生にも積極的に関わってもらい、大人も主役となる活動を行う。

年々スタッフ不足という問題もあったので、親子で参加の募集にして、内容によってはスタッフとして協力してもらうようにした。テーマは「忍者であそぼう」としたところ 20 組 42 名の申込があった。6 回連続講座で前半は衣裳、手裏剣などの工作と親子で楽しめるゲーム。後半は千葉公園に出掛け、クイズラリーも楽しめた。

体験隊終了後、今後の活動を継続することについて、スタッフで検討し、参加者には好評であったが、スタッフ不足という現状があり、この形での開催は難しく、打開策として、学生を中心に運営し、子ども学スタッフがサポートする案を公民館に提案したが、公民館側としては子ども学研究会がメインにならないと共催は難しいこと、単発講座の方が参加率が高く自由度も高いとのことで、公民館との共催事業は終了することになった。体験隊としてのプログラムは形を変えて今後は検討していく。

日時	活動内容		参加人数
H27.5.17	忍者修行心得	じゃんけんチャンピオン、絵しりとり、衣裳作り	小学生親子 20 組 42 名
H27.6.21	修業 其の壱	虫食いゲーム・パイプライン・手裏剣、剣作り	
H27.7.12	修業 其の弐	忍者体操・放ち矢作り	
H27.9.13	修業 其の参	伝説の“神”回 作戦会議・色別修業場	
H27.10.25	修業 其の四	千葉公園にて屋外修行	
H27.11.8	轟忍者大会	修了証書作り・修了式	

② ひとづくり応援カタログ 子どもなんでも体験隊 「忍者グッズをつくって忍者になりきろう」

轟公民館で実施した忍者体験プログラムを千葉市の助成事業を利用し、有料連続講座を 3 回で実施した。忍者というテーマだったからか、男児 13 名女児 1 名の申込だった。

有料講座としたからか参加率が良く、ものづくりの好きな子が多かったので、個性豊かに忍者グッズ作って遊ぶことを楽しめ内容は充実したものだったとは思いますが、20 名の募集のところ実際は 14 名。低学年の子が多いので、スタッフの人数も確保が必要、また今回は企画段階で説明会に出席したり大型ショッピングモールで宣伝活動と準備にも時間が取られ、人件費の確保が難しかった。

日時	活動内容	参加人数
H28.1.24	忍者衣裳作り ・ 手裏剣作り	小学生 14 名
H28.2.21	虫食いゲーム・紙皿手裏剣・紙コップ弓矢・蜘蛛の巣・折り紙手裏剣作り	
H28.3.13	ちゃちゃつぼ・バランスゲーム・お金持ちゲーム・忍者手帳作り	

③子どもゆめ基金助成事業 自然ふれあい体験 「集めてかざろう自分だけのドアプレート」

助成金の応募から実施まで、大学生とともにいう初めての試みを行った。

助成金応募が前期で、実施が後期のため、学生の入れ替わりがあったが、関わった大学生にとって、かなり苦戦しながらも、自分たちでゼロから始めてイベントを開催できて、楽しさや満足感、そして多くの反省を学べたようだった。スタッフにとっても、どこまで手を出すか、どう進めるか、任せ方に悩み、考える機会になった。

日時	活動内容	参加人数
H27.12.13	公園で材料探し・ドアプレート作り・お金持ちゲーム	小学生 14名

④習志野市実花公民館 子どもチャレンジ大会の協力 6/13(土)

26年度に引き続き、実花公民館事業の生涯学習をされている「フォーラムちえのわ」の子どもチャレンジ大会に協力参加をした。約300名の小学生の参加者と大会のオープニングで新聞パラバルーンをし、その新聞をびりびりして大きめのビニール袋に詰め、大玉送りを楽しんだ。

その後、コーナーに分かれて新聞紙を長く裂いて長さを競うゲームも好評だった。

参加者が多いイベントだったが、中学生のボランティアクラブの生徒が手伝ってくれたので、参加者を待たせることもなく楽しんでもらった。

⑤木育おもちゃ Festa 木育キャラバン への参加 9/5(土) @きぼーる

きぼーるで行われた「木育キャラバン」に誘われて「紙コップ弓矢作り」で参加した。詳細を知らないまま当日参加し、とても規模の大きなイベントで驚いたが、出店者に顔見知りが多く、つながりを感じた。助成金をうまく使い、協力者を募れば、大きなイベントを開催できることを実感した。

⑥子ども舞台芸術体験ひろば 2015in ちば 開催協力 @県文化会館

(特)子ども劇場千葉県センターと(公財)千葉県文化振興財団が主催の「子どもの舞台芸術体験広場2015in ちば」の開催に協力した。

【子育てに関する情報の発信、発行事業】

平成23年度に発行した「子どもなんでも体験隊あそびレシピブック」の内容の検証、見直しを行い、新たに主に放課後子ども教室の活動に役立つ内容のハンドブックを作成する。

①あそびレシピブックの改定

レシピブック班というグループを作り、大学生を中心に、前期は既存のレシピブックの検証と新しいレシピの開発をし、後期はレシピブックの改定作業を行った。「小学生向け教育サークルで活動している大学生のためのレシピブック」という視点での改定となり、学生ならではのアイデアや視点が入り、最後バタバタしながらも、形にすることができた。しかし実際に使うにはまだ不十分なため、今後検証をしながら完成を目指していきたい。



②ブログ・ホームページの更新

ブログで活動の告知や報告を都度行うことを心掛けた。ブログとツイッターやホームページが連携するように設定したためか、ホームページを見て興味を持ったという問い合わせが何件かあった。

【子どもも大人も安心して過ごせる居場所作り事業】

①マンションコミュニティサポート事業「ザ・パークハウス新検見川」

株式会社フォーシーカンパニーより依頼があり全4回実施した。子育て交流会は0才～2才の参加率が高くニーズを感じた。クリスマスツリーの飾り付けは未就学児と小学生でできることが違うので分けて進めてみた。4年目になるため、毎年参加してくれる小学生もいて、組み立て方などを覚えていて積極的に参加していた。

日時	活動内容	参加人数		
H27.5.31	子育て交流会	0才～3才 30組	4才～6才 5組	小学生 2組
H27.9.26	子育て交流会	0才～3才 17組	4才～6才 5組	
H27.11.29	クリスマスツリーの飾り付け	15家族		
H27.12.27	クリスマスツリーの片付け	8家族		

②絵本でつながろう親子でふれあいタイム 全7回(助成金・ゆめ基金) 申し込み 15組

独立行政法人国立青少年教育振興機構の平成27年度子ども夢基金助成事業として「絵本でつながる親子の交流会」を実施する。

助成金(ゆめ基金)を利用して全7回開催した。7回で300円と低価格で参加できる為、多数の応募があった。しかし低価格の為か、参加率が低下しデメリットも感じた。助成金のおかげで講師の方をお呼びすることができて盛り沢山の内容となった。またパネルシアターの作成から子ども達の前での披露など、学生の参加もよかった。

日時	活動内容	参加人数
H27.6.5	わらべ歌や絵本の紹介・交流タイム・大型絵本	8組
H27.6.19	読み聞かせ講座 講師:村田 裕子(むらたひろこ)さん	12組
H27.7.17	手遊び・わらべ歌・交流タイム・エプロンシアターの紹介	10組
H27.9.18	読み聞かせ講座 講師:となみんこと礪波 由里子さん	8組
H27.10.16	交流タイム・パネルシアター「ふうせん」・千葉大学生制作・披露	9組
H27.11.6	お母さん達がミニパネルシアターを作る。「こんこんくんくしゃん」	6組
H27.11.20	お母さん達がミニパネルシアターを作る。「こんこんくんくしゃん」	4組

③絵本でつながろう親子でふれあいタイム全3回(ひとづくり応援カタログ) 申し込み 14組

ひとづくり応援カタログに申し込み、千葉市より40%補助という形で全3回開催。1人600円負担ということもあり、前期の講座より欠席者が少なかった。ただ人件費・材料費がぎりぎりだったので、予算の組み方など今後の課題にもつながった。静と動を組み合わせた内容となったので、動きのある講座となりよかった。

日時	活動内容	参加人数
H28.1.27	エプロン・パネルシアターの紹介・新聞紙遊び・ミニパネルシアター作り	13組
H28.2.17	ミニパネルシアター作り・絵本の紹介・おもちゃ作り (千葉大学生による)	13組
H28.3.2	ミニパネルシアター作り・音楽あそび・おもちゃ作り (千葉大学生による)	12組

④ゆるプロ情報交換会の開催

ちばゆるやかにつながろうプロジェクトを進め、千葉で地域の子どもに関わる人たちのプラットフォームあるいは案内所のような場作りをめざし活動する。

情報交換会 6 回行い、毎回約 10 団体の方の参加があり、学生と合わせると 50 人前後の大規模な交流会となった。情報交換会の進行を学生に任せる回を作ったり、「もし 10 億当たったらどんなことをするか」を考える“妄想イベント企画会”を開いたり、内容に少し変化を加えるように心掛けた。情報交換会で知り合った後、個人としてその団体の活動に参加する学生も数人いて、団体と学生をつなげる活動もできた。

しかし、まだせつかく知りえた情報をその場で共有するだけに終わってしまっていることがもったいなく、どう活かしていくかが今後の課題である。

日時	活動内容	参加団体数・人数
5/26	全体での情報交換会	10 団体・約 50 名
7/14	学生の進行による情報交換会	10 団体・約 50 名
10/27	全体での情報交換会・グループでの課題について話し合い	10 団体・約 30 名
12/1	妄想イベント企画会「10 億あったら何をする?!」	10 団体・約 30 名
1/26	情報交換会・プチ講座	10 団体・約 30 名
3/22	情報交換会(こどものまちなどの話題を中心に)	5 団体 10 名